



2023年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4180 URL http://www.appier.com/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)游 直翰
 問合せ先責任者 (役職名)Senior Vice President of Finance (氏名)橋 浩二 (TEL) 03(6435)6617
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	5,552	32.3	386	47.2	△31	—	△12	—	△34	—	△34	—	142	△88.8
2022年12月期第1四半期	4,197	52.7	262	—	3	—	△27	—	△46	—	△46	—	1,266	—

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年12月期第1四半期	円 銭 △0.33	円 銭 △0.33
2022年12月期第1四半期	円 銭 △0.46	円 銭 △0.46

(注) 1. 前第1四半期連結会計期間末に存在する普通株式1,579,471株相当のストック・オプション及び当第1四半期連結会計期間末に存在する普通株式1,228,505株相当のストック・オプションは、1株当たり四半期損失に対して逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の算定に含まれておりません。当該ストック・オプションは、将来において基本的1株当たり利益を潜在的に希薄化させる可能性があります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2023年12月期第1四半期	百万円 35,496	百万円 26,374	百万円 26,374	% 74.3
2022年12月期	百万円 35,939	百万円 26,201	百万円 26,201	% 72.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2023年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株 当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,454	31.0	2,342	71.9	535	964.3	815	634.6	718	—	718	—	7.07

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期1Q	101,588,767株	2022年12月期	101,511,035株
2023年12月期1Q	237株	2022年12月期	195株
2023年12月期1Q	101,535,531株	2022年12月期1Q	101,187,972株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は5,552百万円（前年同期比32.3%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2023年3月におけるARR（注1）は21,620百万円となり、2022年3月の15,758百万円からの成長率は37.2%となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益は2,781百万円（前年同期比32.4%増）となり、売上総利益率は50.1%（前年同期は50.1%）となりました。

事業規模の拡大及び為替影響により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加していますが、販売及びマーケティング費用及び一般管理費の売上収益に対する比率は低下しました。研究開発費は為替影響及び生成AI等に関する研究開発活動の強化により、売上収益比率が前年同期比で0.7ポイント上昇しました。その結果、EBITDA（注3）は386百万円（前年同期は262百万円）、営業損失は31百万円（前年同期は3百万円の黒字）となりました。また、税引前四半期損失は12百万円（前年同期は27百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は34百万円（前年同期前は46百万円）となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益（注2）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2023年3月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2022年10月から2023年3月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2023年3月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3か月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は35,496百万円であり、前連結会計年度末に比べて443百万円減少しております。流動資産は前連結会計年度末に比べて892百万円減少しており、主な減少要因は定期預金の払戻による減少（前連結会計年度末比8,371百万円減）であり、主な増加要因は定期預金の払戻等による現金及び現金同等物の増加（同6,309百万円増）、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得によるその他の金融資産の増加（同890百万円増）及び売上収益の増加による営業債権の増加（同331百万円増）であります。非流動資産は前連結会計年度末に比べて449百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上によるのれん及び無形資産の増加（同509百万円増）であり、主な減少要因は使用権資産の償却による減少（同132百万円減）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は9,122百万円であり、前連結会計年度末に比べて615百万円減少しております。流動負債は前連結会計年度末に比べて476百万円減少しており、主な減少要因は未払給与・税金等の支払によるその他の債務の減少（前連結会計年度末比649百万円減）であり、主な増加要因は売上原価の増加による営業債務の増加（同106百万円増）であります。非流動負債は前連結会計年度末に比べて139百万円減少しており、主な減少要因はリース負債の返済による減少（同138百万円減）であります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は26,374百万円であり、前連結会計年度末に比べて173百万円増加しております。主な増加要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の増加（前連結会計年度末比176百万円増）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、10,113百万円（前連結会計年度末比6,309百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は401百万円となり、前第1四半期連結累計期間の支出341百万円と比べ、59百万円支出が増加しました。EBITDAは前年同期比で124百万円増加しましたが、主に営業債権の増加及びその他の債務の減少に伴う運転資本の増加により、支出が増加しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は6,783百万円となり、前第1四半期連結累計期間の支出2,569百万円と比べ、9,351百万円収入が増加しました。主な収入の増加要因は定期預金の純減による収入の増加（前年同期比9,579百万円増）であり、主な減少要因は無形資産の取得による支出の増加（前年同期比236百万円増）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は131百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べ8百万円支出が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表した内容から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,803,630	10,112,544
定期預金	13,932,568	5,561,289
営業債権	2,843,653	3,174,179
契約資産	920,117	922,917
その他の債権	164,292	107,024
その他の流動資産	121,969	125,936
その他の金融資産	3,576,577	4,466,745
流動資産合計	25,362,806	24,470,634
非流動資産		
有形固定資産	192,491	246,705
使用権資産	2,881,598	2,749,203
のれん及び無形資産	6,937,098	7,445,683
繰延税金資産	174,669	166,800
その他の金融資産	389,959	416,627
非流動資産合計	10,575,815	11,025,018
資産合計	35,938,621	35,495,652
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,149,053	2,169,987
契約負債	158,189	181,225
営業債務	1,833,823	1,939,590
その他の債務	2,413,623	1,764,297
未払法人所得税	51,367	33,031
リース負債	582,535	612,390
その他の流動負債	98,293	110,287
流動負債合計	7,286,883	6,810,807
非流動負債		
引当金	62,387	64,022
繰延税金負債	58,989	55,907
リース負債	2,329,027	2,191,052
非流動負債合計	2,450,403	2,310,981
負債合計	9,737,286	9,121,788
資本		
資本金	7,535,199	7,538,326
資本剰余金	23,712,343	23,739,560
自己株式	△246	△322
利益剰余金	△9,472,977	△9,506,595
その他の資本の構成要素	4,427,016	4,602,895
親会社の所有者に帰属する持分	26,201,335	26,373,864
資本合計	26,201,335	26,373,864
負債及び資本合計	35,938,621	35,495,652

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	4,197,460	5,551,923
売上原価	△2,096,626	△2,770,655
売上総利益	2,100,834	2,781,268
販売及びマーケティング費用	△1,346,164	△1,777,231
研究開発費	△460,787	△650,689
一般管理費	△348,739	△433,560
その他の収益	59,335	49,481
その他の費用	△1,294	△603
営業利益 (△損失)	3,185	△31,334
金融収益	16,196	122,065
金融費用	△46,677	△102,427
税引前四半期損失 (△)	△27,296	△11,696
法人所得税費用	△19,148	△21,922
四半期損失 (△)	△46,444	△33,618
四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△46,444	△33,618
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△0.46	△0.33
希薄化後1株当たり四半期損失 (△) (円)	△0.46	△0.33

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期損失(△)	△46,444	△33,618
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本金 融商品の公正価値の純変動額	41,226	22,778
純損益に振り替えられることのない項 目合計	41,226	22,778
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	1,271,340	153,101
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	1,271,340	153,101
その他の包括利益合計	1,312,566	175,879
四半期包括利益	1,266,122	142,261
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,266,122	142,261

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2022年1月1日残高	7,526,244	23,644,664	—	△9,494,299	1,134,939	24,140	1,159,079	22,835,688
四半期損失(△)	—	—	—	△46,444	—	—	—	△46,444
その他の包括利益	—	—	—	—	1,271,340	41,226	1,312,566	1,312,566
四半期包括利益	—	—	—	△46,444	1,271,340	41,226	1,312,566	1,266,122
株式報酬取引	—	9,981	—	—	—	—	—	9,981
新株予約権の行使	1,080	1,080	—	—	—	—	—	2,160
自己株式の取得	—	—	△58	—	—	—	—	△58
所有者との取引額等 合計	1,080	11,061	△58	—	—	—	—	12,083
2022年3月31日残高	7,527,324	23,655,725	△58	△9,540,743	2,406,279	65,366	2,471,645	24,113,893

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2023年1月1日残高	7,535,199	23,712,343	△246	△9,472,977	4,442,874	△15,858	4,427,016	26,201,335
四半期損失(△)	—	—	—	△33,618	—	—	—	△33,618
その他の包括利益	—	—	—	—	153,101	22,778	175,879	175,879
四半期包括利益	—	—	—	△33,618	153,101	22,778	175,879	142,261
株式報酬取引	—	24,090	—	—	—	—	—	24,090
新株予約権の行使	3,127	3,127	—	—	—	—	—	6,254
自己株式の取得	—	—	△76	—	—	—	—	△76
所有者との取引額等 合計	3,127	27,217	△76	—	—	—	—	30,268
2023年3月31日残高	7,538,326	23,739,560	△322	△9,506,595	4,595,975	6,920	4,602,895	26,373,864

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失(△)	△27,296	△11,696
減価償却費及び無形資産償却費	257,138	415,375
受取利息	△16,196	△122,065
支払利息	16,534	26,030
予想信用損失(△は戻入)	17,937	20,540
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△115	△45,744
条件付対価取崩益	△57,178	—
株式報酬費用	12,085	30,266
その他	△257	103
運転資本の増減		
契約資産	131,913	4,458
営業債権	△172,320	△332,057
その他の債権	53,518	△6,048
その他の流動資産	△25,369	△5,328
契約負債	2,589	21,541
営業債務	△135,070	91,700
その他の債務	△353,532	△622,614
その他の流動負債	△21,679	10,809
小計	△317,298	△524,730
利息の受取額	524	183,457
利息の支払額	△16,479	△25,917
法人所得税の支払額	△7,977	△33,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△341,230	△400,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,068	△70,496
無形資産の取得による支出	△466,661	△702,677
子会社の取得による支出	—	△41,569
定期預金の払戻による収入	—	10,905,021
定期預金の預入による支出	△1,162,873	△2,488,947
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 取得による支出	△930,691	△888,627
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 売却による収入	—	71,977
その他	1,631	△2,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,568,662	6,782,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△122,470	△130,915
株式の発行による収入	56	78
自己株式の取得による支出	△58	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,472	△130,913
現金及び現金同等物の為替変動による影響	148,061	57,890
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,884,303	6,308,914
現金及び現金同等物の期首残高	6,560,906	3,803,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,676,603	10,112,544

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。